

会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回飯塚市図書館運営協議会
開催日時	令和5年8月21日(月) 16時00分～17時30分
開催場所	イツカコミュニティセンター2階 展示ホール
出席委員	後藤委員、吉村委員、大津委員、小池委員、木村委員、白石委員、東田委員 石川委員 以上8名
欠席委員	和多委員、岡松委員
事務局職員	【指定管理者(図書館流通センター)】中堀館長・瓜生統括チーフ 【教育委員会】山田教育部長、中村生涯学習課長、石川生涯学習課長補佐、村岡中央公民館・図書館係長 面高中央公民館・図書館係
発言者	発言内容
中央公民館・図書館係 教育部長	<p>1 議事に入る前の経過</p> <p style="padding-left: 2em;">事務局より開会を告げた後以下の進行を行った。</p> <p style="padding-left: 2em;">(1) 任命書交付・委員自己紹介</p> <p style="padding-left: 2em;">(2) 教育委員会挨拶</p> <p>教育委員会を代表いたしまして、ご挨拶申し上げます。</p> <p>本日は大変お忙しい中、第1回飯塚市図書館運営協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>今回は、改選の時期ではございませんが、新たに2名の委員の方が交代され、これまでもご尽力いただいております8名の委員の皆様とともに、今後1年間、図書館運営協議会に、ご協力を賜りますことに対しまして、心より感謝申し上げます。</p> <p>今までの図書館は、活動内容から見ると、資料(図書・雑誌や視聴覚資料)や情報の提供が主な仕事だと感じています。</p> <p>現在では、市民一人ひとりの自己判断による決定・選択とそのことに対する自己責任が求められる傾向が強くなってきています。個人が意思決定をするうえで、市民が気軽に必要としている情報を入手できるような役割を担う点で、これまでの図書館の役割も今後、さらに拡充していくことが重要だと考えています。</p> <p>その一方では、子育て支援としてのブックスタート事業や、幼児期から児童、青少年期に読書習慣の形成や心の成長に資する図書の提供といった教育的な支援の拡大、さらに図書館機能を使っでの支援などが重要だと思います。</p> <p>また、人生100年時代を心の面で豊かに過ごす学びの場としての生涯学習を、個人の学習の枠に留めるだけではなく、そこで培った経験や知識を地域や社会に還元する活動への支援と考え、そのための環境整備の実施や、情報通信技術を活用したソフト事業の展開など、図書館には新たな大きな役割が求められてきています。</p>

事務局係長	<p>委員の皆様におかれましては、今後とも読書活動の推進にご尽力を賜われますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご盛栄を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。</p> <p>(3) 事務局職員自己紹介</p> <p>(4) 「飯塚市図書館運営協議会」の設置及び開催根拠を図書館法及び飯塚市立図書館条例（抜粋）にて説明</p> <p>2 議事(報告・協議事項)</p> <p>(1) 令和4年度、令和5年度飯塚市立図書館利用状況・業務報告資料に基づき、指定管理者中堀館長より説明</p>
図書館長	<p>【説明要旨】</p> <p>令和4年度、令和5年度5月までの5館の貸出人数・冊数を中心とした利用状況報告</p> <p>各種講座・おはなし会・図書館まつり・訪問事業・団体貸出・蔵書点検・図書館見学・地域との連携事業等の要旨説明。</p> <p>令和5年5月より、マイナンバーカードを図書館利用者カードと紐づけすることによって、図書館利用者カードとしての利用ができるというようなシステムを導入している。図書館利用者カードを忘れたときにそのマイナンバーカードを出すと本の貸し出しができるようになっている。</p>
委員 A	<p>【質問】</p> <p>利用者数について、もう少し伸びてほしいという印象がある。現状を見て、どのように図書館の利用・役割を変えていこうと思っているか。</p>
図書館長	<p>⇒例えば、先週土曜日にサイエンスモールをやったが、そのような子どもさんの役に立つようなイベントを増やしていけたらと考えている。また、蔵書が古くなっているので、電子図書館にも目を向け、考えていけたらと思っている。</p>
委員 B	<p>ブックスタートはコロナ禍前、健診のときにされていたが、今は子育て支援課で赤ちゃんへの訪問の際に行うというふうに変わっていると思う。それはもう今後変わらないのか。</p>
図書館統括チーフ	<p>⇒子育て支援課に確認したところ、全体健診というものが復活しないと聞いている。そのような中、どうしても手渡しをしたいということで今の形になっているので、今後も同様の形式と考えている。</p>
委員 B	<p>⇒自分は、子育て支援を応援しているのだが、やはり訪問してサービスを行う方が、よく色々なことが伝わる。今後も今の形を続けてほしいという考えがある。</p>

委員 C	⇒イベントをされる際、本当に時間がかかると思う。天候不良で中止になることもあるし、人件費もかかるし、イベントを続けることが本当に図書館としての役割なのかと懸念するが、そのあたりはどう考えるか。
図書館長	⇒おっしゃられているのは、去年の話だと思うが、昨年、サイエンスモールの一部が台風で中止になった。本年度もぎりぎり台風に当たらなかったもので、非常に難しいと思う。 また、イベントに偏るのはどうなのかという点だが、イベントをやりながら、いわゆる昔からある図書館の機能との両立に気を配らないといけないと思う。いろんな方の話を聞きながらこれから見直しを図っていきたいと思う。
委員 D	要望になるが、この建物は男女共同参画推進センターが併設されているので、図書館に男女共同参画の蔵書コーナーなどがあるといいと思う。サンクスフォーラムの時にも、特集コーナーを作っていたが、その期間とても良かったと思うので、そのようなスペースを作ってもらえたらと思う。
図書館長 委員 A	⇒検討させていただく。またお話させていただきたい。 ⇒先ほど話があったように、大きなイベントで災害のことを考えると、どこまで延期するのか実行するのかというのが悩ましいと思う。確かにリスクはあると思うが、大きなイベントがあるからこそ図書館に足が向きにくかった方が見ていただけだと思う。できれば継続してやっていただけるとありがたい。また、以前、小学校 3 年生に向けた図書館司書体験があったと思う。ああいうイベントは実際の図書館がどういう風に運営されてるのかわかるし、かなり人気の講座だと思うので、図書館を身近に感じてもらうような行事やイベントを拡充するなどしてほしい。
図書館長	⇒検討させていただく。おっしゃるとおりすごく人気で、定員もいっぱいだった。拡充について考えていく。 (2)令和 5 年度 図書館事業計画について 資料に基づき、生涯学習課長より説明 【説明要旨】 令和 5 年度の図書館事業計画（事業名・主な内容・開催時期・期間・回数等）について一部抜粋して説明 【説明要旨】
図書館長	調べる学習コンクールについて、拡充したいと思っている事業の 1 つである。校長会等でも説明してきたが、今後拡充方法を考えていく。 SNS について、現在、twitter（現在 X）やインスタグラムをやっているが、利用者が少ないため、利用者増に向け精査を行う。 学校との連携について、本年度も小学 1 年生向けに新入生図書館利

委員 E	<p>用案内を行った。また、3年生に向け先ほど話があった一日図書館職員体験を行った。</p> <p>⇒先週受けた学校図書館関係の研修会で、図書館は不登校児童生徒の受け皿としての機能もあるのではないかという話が図書館長よりあった。こちらの飯塚市立図書館では、今後不登校の生徒に向けた取組を考えているか。</p>
図書館長	<p>⇒飯塚では今まで不登校生徒向けの事業は行ったことが無い。検討課題として考えていきたい。</p> <p>委員が聞いた図書館長の話は、該当の図書館長に一度話も聞いてみたいと思う。</p>
委員 D	<p>⇒子ども図書館の話になるが、前に、子ども図書館の委員会で不登校者の第3の居場所にしてほしいという話がでていたと思う。そこはどう変わっていくのか。</p>
教育部長	<p>⇒先ほど委員が話されたように、不登校になった子が、家にいるのか、もしくは教室には入れないが学校には行けるのかといったところでも話が変わる。</p> <p>例えば、穂波に適応指導教室「コスモス」というのがある。学校に行けば当然出席扱いをされるが、この「コスモス」でも出席扱いとなる。図書館にそれを求めることになると、それに若干学校教育の面が入る。図書館を居場所とすることは全然構わないのだが、学校教育が入るといことになると、ハードルが高いという面から、以前の会議で話をさせていただいた。</p> <p>持っていく場所をどこまでするかによって、だいぶ違うと思う。</p>
委員 B	<p>⇒最近は子どもの居場所をたくさん作っていただけるようになってきている。ただ、図書館の話がでたとき、学習面で扱うのは難しいと思う。一人で学習できない子がほとんどであり、不登校が長くなればなるほど難しくなると思う。</p> <p>図書館には、図書館を居場所として子供たちを連れて行って、本の楽しさを教えるとかここは自由にきていいんだよ、あなたたちが一息できるところだよっていうことを教える、そういう場所であって、私は欲しいと思っている。</p> <p>そういうことが長く続いたあとに、次の段階を考えるのであればいいと思う。</p> <p>(3)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども図書館の整備について <p>【説明要旨】</p>
事務局 係	<p>入札を経て、設計業者は「九州設計工務株式会社」に決定している。</p> <p>工事の時期、期間については、令和6年度の秋頃からおおむね9か月を予定しているが、工事前後の準備期間を踏まえると1年程度の休館を見込んでおり、改修工事を経て、令和7年度の夏ごろ、子ども図</p>

<p>委員 A</p> <p>事務局係長</p> <p>委員 A</p>	<p>書館の開館を予定している。</p> <p>穂波図書館の今後の選書は子ども図書館開館に向け、児童書の収集をメインとした選書に切り替えていく。</p> <p>館内設備については、サイエンスモールに参加している九州工業大学等と連携した「常設科学展」の設置等を検討しており、子どもの興味関心を引き出し、関連書籍を手にとって調べることで読書活動につなげていける書架の配置などを考えている。</p> <p>⇒プロジェクトマップングについて心配がある。今流行で、いろんなどころにあるが、器具の不備がかなりある。当初整備するのにかなり予算が必要な上、5年も経つとすごく劣化してしまう。</p> <p>雨漏りや器具の不備がある中で、経年劣化で費用対効果に見合うかわからないものよりも、恒久的に長く使える机などに予算を使ってほしいと思う。</p> <p>・イヅカコミュニティセンター大規模改修工事について</p> <p>【説明要旨】</p> <p>入札を経て、設計業者は「株式会社曾根設計事務所」に決定している。</p> <p>工事の時期、期間については、令和6年度の冬頃からおおむね11カ月を予定しており、工事期間は休館とする。そのため、飯塚図書館も同様に工事前後の準備期間を含めた1年ほど休館を予定している。</p> <p>工事期間中における飯塚図書館を含む本館従事職員の移転先は現在検討中である。また、代替図書館の運営方法も図書館利用者のサービスが継続できるよう、現在検討中である。</p> <p>最後に、代替図書館としての手段の一つに、電子図書館の導入を検討しており8月1日から31日まで、回答を受け付けている。本アンケート結果をもとに、電子図書館の導入を検討していく。</p> <p>⇒現状、駐車場から図書館へのアクセスが悪い。雨も降るし、足の不自由な方や、小さなお子さん、妊婦の方などにとってアクセスしやすいものになってほしい。水回りも含め、利用しやすいものになってほしい。</p> <p>3 閉会 17:30</p>
<p>会議資料</p>	<p>事前配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・令和4年度、令和5年度飯塚市立図書館利用状況・業務報告 ・令和5年度 図書館事業計画について <p>当日配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯塚市図書館運営協議会委員名簿 ・飯塚市立図書館条例（抜粋） ・図書館について

	・飯塚市の生涯学習体系（配布のみ）
公開・非公開の別	1 公開 2 一部公開 3 非公開 （傍聴者 0人）
その他 （非公開理由等）	